

な お み

理念

安全・信頼・連携・地域密着
私たちは、地域に密着した病院として、他の医療機関や関係の方々との密接な連携のもと、安全で心の通った医療・保健・福祉サービスを提供し、患者さんや地域の皆さんから信頼され選ばれる病院を目指します。

「信頼され、選ばれる病院を目指して」

リハビリテーション の変遷

医療法人 正観会 御野場病院
院長 皆河 崇志

私が市内のA病院に脳外科医として赴任したのは昭和57年のことです。着任後リハビリ療法士が一人もいないことを知り、なぜリハビリをやらないのか上司に訊ねたところ、「(脳卒中等による障害は)治るものは自然に治る、治らないものは治らない。」という答えが返ってきました。一理あるとは思いましたが、「リハビリを行わないと、治るものも治らない。」が正解ではないかと考えたのを覚えています。当時、リハビリに対する評価はまだ定まっておらず、私の上司のような考え方が一般的だったのかもしれませんが。平成9年にA病院に再度赴任した時には3人の理学療法士がおり、その後作業療法士と言語聴覚士が加わり、人員も着実に増えていきました。そして急性期リハビリと回復期リハビリの概念が登場し、脳卒中の患者さんが入院すると数日後には急性期リハビリを開始し、急性期治療が終了するとともに回復期の病院に転院、そして集中的な回復期リハビリを施行するのが一般的になりました。10年程前のことです。

御野場病院では平成18年に回復期リハビリ病棟を開設し、現在45床、365日休むことなくリハビリを行っています。本年9月からは、呼吸器リハビリを開始しました。肺炎や肺手術後の呼吸障害と体力低下に伴う廃用症候群に対するリハビリで、高齢化社会では必須のリハビリと考えています。このように、脳神経疾患、整形外科的疾患、そして急性期疾患に対する治療後の廃用症候群に対するリハビリのシステムは確立した感があります。当院に転院した時はベッドから起き上がることさえ出来なかった患者さんが、独歩で退院する姿を見ることは、患者・家



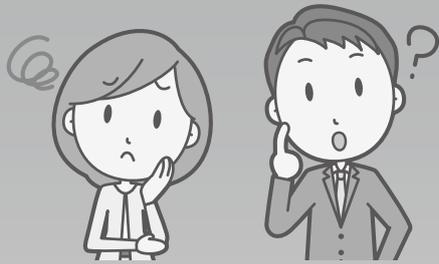
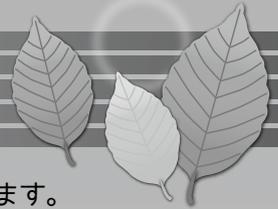
族だけでなくリハビリに携わるスタッフにとっても大きな喜びになっています。

最近、急性期リハビリと回復期リハビリの概念が登場した頃と同じようなパラダイムシフトが起こりつつあります。これまで、急性期・回復期リハビリが終了した後に維持期リハビリが行われてきましたが、その評価については議論のあるところでした。漫然とリハビリが行われることに対して、医療経済的な面からしばしば問題視されてきたのです。しかし、加齢と廃用で徐々に体力が低下していく事例、回復期リハビリを施行しても十分な回復が得られない事例、そして急性期病院で治療を受けて病気は治ったものの廃用で動けなくなった事例に対しては、何らかのリハビリテーションが必要になります。このような患者さんに対して、本人と家族の要望を尊重し、リハビリのゴールを具体的に定め、患者さんにあった計画的なリハビリを「通所」や「訪問」で行うことが推奨されています。そして、漫然とリハビリが継続することを避けるために、患者さんの医療・介護に係わるスタッフが一堂に会してリハビリの方針や終了時期を決める会議の開催も求められています。リハビリの計画を立て、会議を主催する療法士には多大なエネルギーが必要となり、マネジメント能力も求められますが、患者さんと家族にとっては大変喜ばしい時代になったのではないかと思っています。



10月より

在宅支援外来が始まります。



在宅医療に関する相談窓口を開設します。
 在宅での療養に対する不安、訪問診療に関する疑問など、
 在宅医療に関する様々なご相談に対応します。
 診察には当院の在宅診療担当医が応じます。

「診療を受けたいが
通院が困難である」

「どのような
在宅サービスが
あるのかわからない」

お気軽に
ご相談ください。

「どのような
サービス
を受ければよいのか」



など・・・



担当医/市原利晃 医師
 診療日/第2・4水曜日 13:30~15:00
 — お問い合わせ先 —
 外来窓口もしくは外来看護師へお問い合わせください。
 外来直通 TEL:018-829-3295

診療実績(平成26年度)

外来

内科	リハビリテーション科	泌尿器科	健診・自由診療	計
新患数 377	新患数 47	新患数 31	診療患者数 852	診療患者数 9,355
1日当り外来患者数 25.3	1日当り外来患者数 7.0	1日当り外来患者数 2.3	1日当り外来患者数 3.5	1日当り外来患者数 38.2

入院

内科	リハビリテーション科	計
新入院患者数 61	新入院患者数 257	新入院患者数 318
退院患者数 64	退院患者数 251	退院患者数 315
在院患者数 38,601	在院患者数 15,821	在院患者数 54,422
1日当り在院患者数 105.8	1日当り在院患者数 43.3	1日当り在院患者数 149.1
平均在院日数 559.4	平均在院日数 60.7	平均在院日数 165.2
		病床利用率 98.1

外来部門紹介

当院外来は、内科とリハビリテーション科の診療を行っており、主に地域にお住まいの方、退院後も継続して当院で治療を受ける方、施設に入所中の方などが受診されます。また、寝たきりなどで通院できない患者さんのお宅に伺う訪問診療も積極的に行っています。

比較的高齢の方やお身体の不自由な患者さんが多く受診しますので、安心して診療を受けられるよう、声掛けや待ち時間への配慮を心掛けています。外来待合室は、ご近所さんや長く通院して顔見知りになった患者さん同士の憩いの場となっています。

また、退院した患者さんが病棟スタッフやリハビリスタッフと談笑したりと、とても和やかな雰囲気です。毎年行っている満足度調査では、職員が優しく親切とのお言葉を多数いただきました。

これからも、患者さんが快適な環境で受診できるよう、思いやりの心を大切に丁寧な対応をしていきたいと思えます。



■診療担当医表

		月	火	水	木	金
午前	内科	寺田 邦彦	三浦 莊治	皆河 崇志	三浦 莊治	寺田 邦彦
			吉川 晴夫		金谷 有子	
午後	内科	鎌田 誠	小林 佳美	吉川 晴夫 市原 利晃 (第2・4)	皆河 崇志	三浦 忠俊
	リハビリ	—	小林 佳美	—	—	三浦 忠俊

出張などにより、担当医が変更になる場合がございます。指定の医師をご希望の場合は、事前にお問合せください。

■診療時間

	午前	午後
月～金	9時～12時	1時30分～3時

※午前の受付は11時30分までをお願いします。

■休診日

毎週土曜・日曜 祝祭日 年末年始





三浦邦夫名誉院長送別会

2011年より当院の院長としてご尽力いただきました三浦邦夫先生が、9月末日をもって退職されました。邦夫先生は、秋田赤十字病院にて副院長として勤務された後、当院の第7代院長に就任されました。病院機能評価の受審、泌尿器科外来の開設などに携わり、管理者として職員を纏めてこられました。鉄道、マジック好きの先生は、職員にも大変親しまれており、送別会でもマジックを披露し会場を沸かせておりました。これからもますますのご活躍をお祈り申し上げます。この場をお借りして、ご報告させていただきます。

栄養科より

6月・7月の行事食について
ご紹介いたします。



6月
茶話会

7月
夏祭り



6月の茶話会では、『チョコバナナスムージー』を提供しました。

当日は暑かったため、さっぱりした飲み物が最適だったようで、リハビリ病棟の患者さんはリハビリ後に召し上がっていました。

冷たくてほどよい甘さのチョコバナナスムージーは、リハビリで疲れた体を癒してくれたようです。

7月の第4木曜日のランチデーでは『夏祭り』をテーマに、お好み焼き、おさつスティックなどの屋台で人気の料理を取り入れてみました。

特に長芋入りのお好み焼きは、「ふわふわしておいしい」と好評でした。

入院中はなかなか外出できない患者さんに、料理で夏祭りの雰囲気を感じてもらうことができたようです。